

卓 話

平成 14 年 11 月 19 日

『フィリピンを中心とした東南アジア経済』

岐阜ジェトロ所長 斎藤俊樹 様

岐阜ジェトロ所長斎藤と申します。私が新任の頃、ジェトロの先輩よりジェトロマンたるもの語学、ゴルフ、囲碁の 3 つの「ご」を大切に仕事をしなさいと言われてきました。私は 3 つとも今だにうまくはなりませんが、二十数年にわたり海外業務を担当させていただきました。

今日は東アジアにおける経済状況をお話申し上げたいと思います。

今、アジアの元気な国といえばなんといっても中国です。特に上海地区は GDP 世界 7 位、一人当たりの GDP も 4500 ドル(ちなみにマレーシアは 3500 ドル)という高い伸びを示しています。日本からも 20 分の 1、30 分の 1、と言われる人件費の安さを期待し多くの企業が進出をしています。ここ岐阜からも 200 近い企業が海外進出をしています。その半数は中国になっています。しかし目的意識をしっかり持った上で進出をしないと利益は出ないという統計もあります。さらに中国市場では売掛け金回収とかコピー商品の問題とか解決しなければいけない事も多々あるということを肝に命じておいてもらいたいものです。

また、そういった中国とともにアセアン諸国も日本の投資対象になっています。タイ、フィリピン等が中心的な国でしょう。しかし現在東アジアの自由貿易機構 AFTA の存在が日本の将来の貿易経済に大きく影響があると思われます。

ジェトロでは企業の海外進出についての相談やら、情報の伝達等の仕事をしております。是非ふれあい会館の事務所までお運び頂きたいと思います。

今日はありがとうございました。

